

防ごう、うっかりドーピング！ クリーンな新潟国体を！

Q：どんな薬が禁止されていますか？

- ・ カゼ薬（エフェドリン）、漢方薬も注意！
- ・ 男性化ステロイド、蛋白同化薬
- ・ エリスロポエチン
- ・ 成長ホルモン
- ・ インシュリン（糖尿病）
- ・ 利尿薬、遮断薬（高血圧）
- ・ β 2作用薬（ぜんそく！）
- ・ プロベネシド（痛風！）

……………その他たくさんあります。

※ 使用できるかどうかの問い合わせは下記までお願いいたします。

新潟県薬剤師会・薬事情報センター

FAX 025-281-7735

Q：治療のため、どうしても禁止物質を使いたい？

- ・ 所定の用紙で申請し、許可されれば使用できます。（治療目的使用に係る除外措置：TUE）
 - ・ 一年間有効です。
 - ・ 特に2009年1月1日よりTUEが厳しくなっています。喘息での吸入 β 2作用薬（サルブタモール、サルメテロール、ホルモテロール、テルブタリン）はTUEの申請が必要です。
 - ・ 糖質コルチコイドの非全身的使用（関節内注射、関節周囲注射、腱周囲注射、硬膜外注射、皮内注射、吸入）はTUEは不要です。しかし、選手は使用薬剤を申請する必要があります。
- ※ TUEの詳細はJADAのHPを御参照下さい。また用紙をダウンロードして下さい。

Q：静脈内注射は？

- ・ 注入される物質が禁止されてなく、なおかつその量が50mlを越えなければ可能です。
- ・ 正当な医学的使用は禁止されません。
（救急処置、外科的処置、good medical practice（？）といっています…）
ただし運動による単なる脱水（？）に対しての注射は禁止されます。

Q：喘息でのTUE申請の提出記録の内容は？

- ① 全ての病歴
- ② 特に呼吸器系の診療所見
- ③ FEV1の測定と呼吸機能検査結果
- ④ 気管支収縮の可逆性試験（気道閉塞のある場合）
- ⑤ 気道過敏性を証明する気管支誘発試験（可逆的気道閉塞がない場合）
- ⑥ 担当医の専門分野、氏名、住所

※ JADAのHP、吸入 β 2作用薬使用に関する情報提供書をダウンロードして下さい。

（文責：ゆきよしクリニック 萩荘則幸）